



経営・ビジネス・ITをつなぐ実践情報誌

アイティイー・イニシアティブ

IT initiative



(株)翔泳社 メディア事業部

TEL:03-5362-3803



導入権限層に確実にリーチする雑誌の登場です

厳選された権限層に向けたコントロールド・サーキュレーションマガジン

企業情報システムの導入や運用の意志決定情報を、上場企業のIT部門長、技術本部長、経営企画、事業部門の導入担当者、翔泳社の過去イベント参加から抽出した導入権限層 12000名に送付します。

エンタープライズIT領域の主要テーマを対象

運用管理、ミドルウェア、ERP、SOA、仮想化、データ統合、基幹サーバ、ネットワーク機器などエンタープライズITの幅広い領域をテーマにします。

フリーマガジンでありながら、クオリティを追求

フリーマガジンでありながらも、一流のITコンサルタント、アナリスト、エンタープライズIT関連のプロフェッショナルの寄稿、インタビューを掲載し、ITマネージャの「実践的に役立つ」誌面づくりを追求します。

効果的なタイアップ・コンテンツ

本文記事／記事広告の区分を排し、企業のソリューション、サービスを専門のライター、ITジャーナリストが記事を執筆。他誌よりもリーズナブルに、純広告掲載と記事コンテンツ制作が可能です。

Web、セミナーと連動

掲載したタイアップ記事は、エンタープライズIT Web 『EnterpriseZine』に掲載します。

また、翔泳社主催イベントや他社イベントでも無料配布をおこないます。

媒体概要

経営・ビジネス・ITをつなぐ実践情報誌

IT initiative

- ・ 雑誌名 : アイティー・イニシアティブ
- ・ 発行 : 翔泳社
- ・ 刊行日 : 2008年9月初旬、2009年2月20日
(以後年4回発行予定)
- ・ 発行部数 : 15000部
(12000部無料送付＋イベント配布)
- ・ A4判変形 : 4C/2C 80頁
- ・ 定価 : 無料送付



経営・ビジネス・IT部門をつなぐ実践情報誌

無料送付母体 12000名

・情報部門管理職 5000名

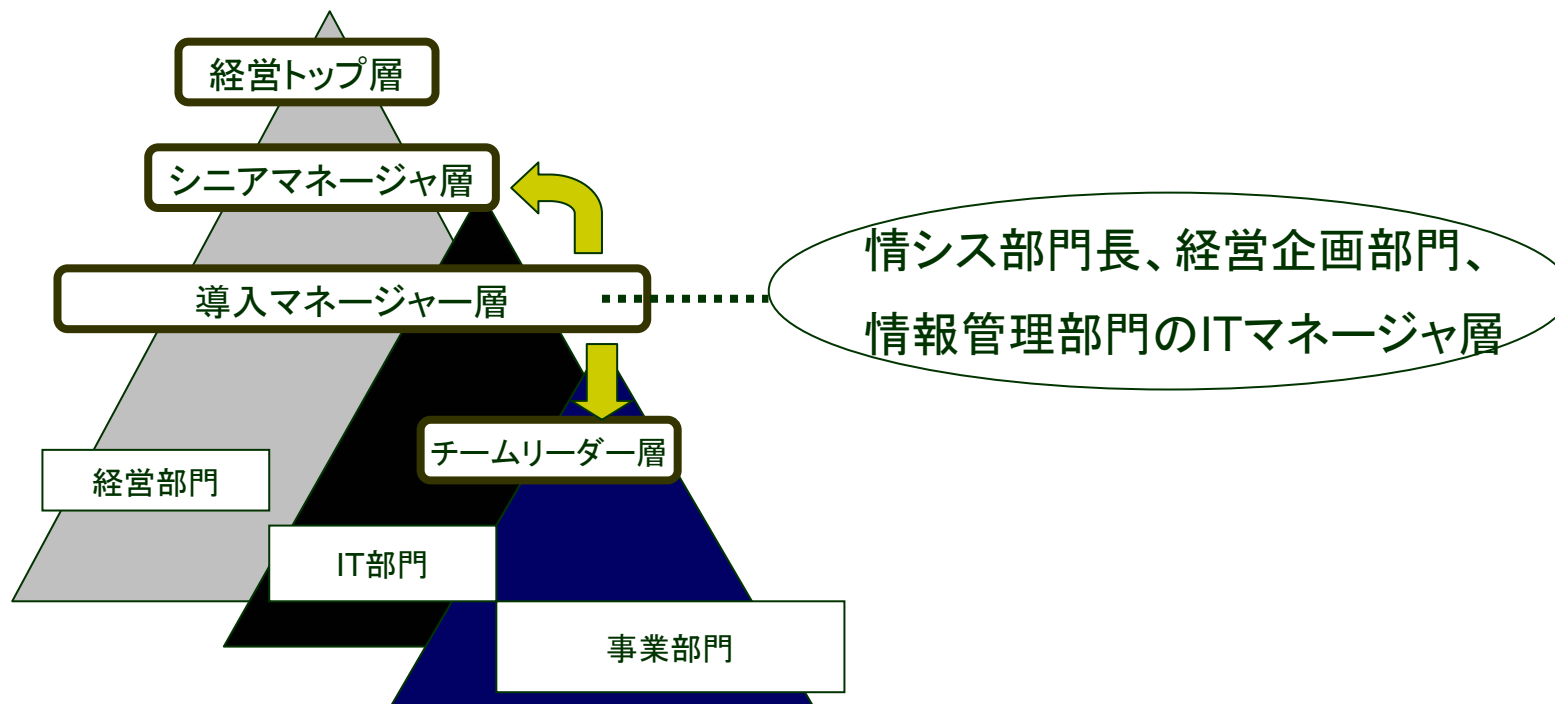
上場企業部門長層より「情報システム部門」「技術部門長」抽出

・ITコンプライアンス・レビュー読者の内、IT部門層 3000名

・DBマガジン定期購読 2000名

・イベント会員 2000名

(EnterpriseOSS,PMコンファレンス,ITILコンファレンス,ITストラテジサミットから抽出)



年間発行計画

Vol.1 (2008. 9. 初)

「IT戦略思考」

【Feature1】運用管理

【Feature2】企業内情報検索

Vol.3(2009. 2. 20)

「成長市場とIT」(予定)

【Feature1】(仮)

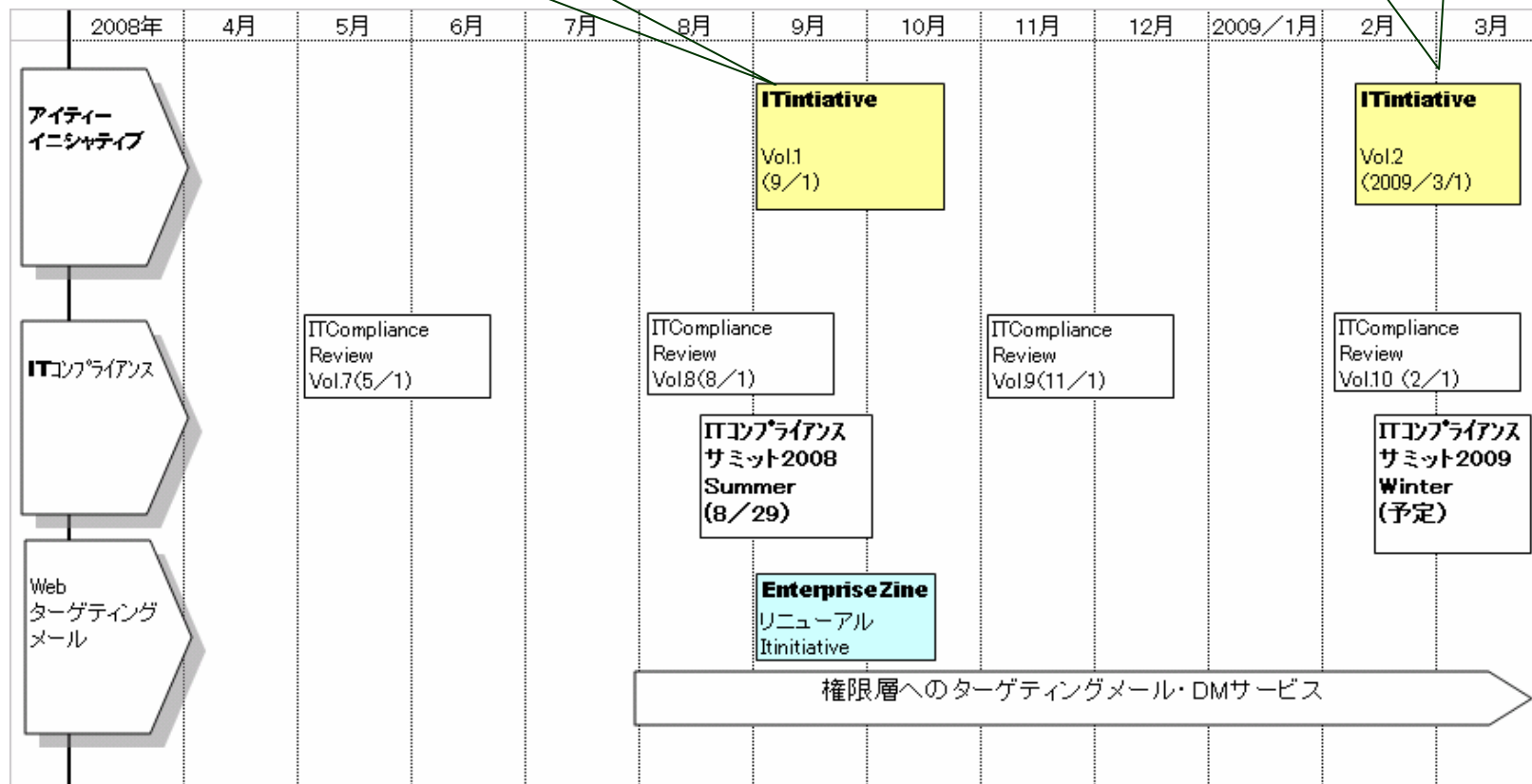
金融・製造ソリューション

【Feature2】ERP(仮)

【Feature3】(仮)

エンタープライズ・モバイル

エンタープライズメディア発行計画



創刊号の概要

IT戦略思考 ～ 導入視点と実践手法」

◎巻頭【BIZ Initiative】

東京海上日動火災保険 常務取締役 横塚裕志

◎ガートナー記事（インタビュー構成）

ガートナー リサーチ

グループ バイス プレジデント 山野井 聡

◎寄稿

経営とITをつなぐ～情報化投資効果をいかに最大化するか
NTTデータ経営研究所 三谷慶一郎

【特集1】

「運用管理からITサービスマネジメントへ」
（寄稿）

ITサービスマネジメントとITIL

株式会社 野村総合研究所 應和 周一 氏

失敗しないITサービス導入のポイント
～ PDCAの回し方

ビーエスピーソリューションズ 増田栄治氏

運用管理／ITサービスマネジメント関連ソリューション紹介

- ・日立製作所 JP1 (4頁)
- ・NEC WebSAM (4頁)
- ・日本IBM Tivoli (4頁)
- ・BSP LMIS (4頁)

【特集2】

「人財と知のマネジメント」（日立システムTU企画）

・「フューチャー・オブ・ワーク」

トーマス・マローン MITスローン教授

・新たな人事戦略としてのワークライフバランス

石倉洋子 一橋大学大学院国際企業戦略研究科教授

座談会：「人財と知のマネジメント」

（司会・モデレータ）

竹田圭吾

『ニューズウィーク日本版』編集長

（パネラー）

・芦辺洋司 (株)日立コンサルティング 取締役

・石田英敬 東京大学大学院情報学環教授

・広野道子 21LADY(株) 代表取締役社長

・眞木正喜 (株)日立システムアンドサービス 執行役専務

・矢野和男 (株)日立製作所 中央研究所

タイアップページ

特集に連動した各社のソリューション・導入事例などをインタビューを元に記事として作成します。

日本版SOX後の施行進む 内部統制の整備にITシステムをどう活用すべきか

迅速、容易に内部統制を強化する「JP1 V8.1」デビュー

日本版SOX(内部統制法)の施行が迫る。既に多くの企業が内部統制への取組を進めつつある。一方、クラウドやモバイル端末の普及がもたらした働き方の変化、IT環境の多様化(クラウドサービスの活用)やITシステムの多岐化(ERP/CRM/SCM)など、新たな課題も生じている。その中で、内部統制を強化するITソリューション「JP1 V8.1」が、ビジネスに内部統制を強化する新しいワークフローを実現している。

日本版SOX(内部統制法)の施行が迫る。既に多くの企業が内部統制への取組を進めつつある。一方、クラウドやモバイル端末の普及がもたらした働き方の変化、IT環境の多様化(クラウドサービスの活用)やITシステムの多岐化(ERP/CRM/SCM)など、新たな課題も生じている。その中で、内部統制を強化するITソリューション「JP1 V8.1」が、ビジネスに内部統制を強化する新しいワークフローを実現している。

業務処理効率を支援し IT全統制を拡充する「JP1 V8.1」

このほどリリースされた「JP1 V8.1」は、内部統制を強化するためのプラットフォーム。そのポイントは、「業務プロセスの最適化と管理の効率化」と、「業務プロセスの自動化」にあると見られる。また、「業務プロセスの最適化と管理の効率化」は、業務処理を自動化して行う「自動化」(JP1/NETM/AD)、「業務プロセスの自動化」(JP1/IM/SS)という2つの機能によって実現される。また、「業務プロセスの最適化と管理の効率化」は、業務処理を自動化して行う「自動化」(JP1/NETM/AD)、「業務プロセスの自動化」(JP1/IM/SS)という2つの機能によって実現される。

IT全統制を強化する「JP1/NETM/AD」

「JP1/NETM/AD」は、IT全統制を強化するためのプラットフォーム。そのポイントは、「業務プロセスの最適化と管理の効率化」と、「業務プロセスの自動化」にあると見られる。また、「業務プロセスの最適化と管理の効率化」は、業務処理を自動化して行う「自動化」(JP1/NETM/AD)、「業務プロセスの自動化」(JP1/IM/SS)という2つの機能によって実現される。

IT全統制を強化する「JP1/IM/SS」

「JP1/IM/SS」は、業務プロセスの自動化を実現するためのプラットフォーム。そのポイントは、「業務プロセスの最適化と管理の効率化」と、「業務プロセスの自動化」にあると見られる。また、「業務プロセスの最適化と管理の効率化」は、業務処理を自動化して行う「自動化」(JP1/NETM/AD)、「業務プロセスの自動化」(JP1/IM/SS)という2つの機能によって実現される。

内部統制を強化する

内部統制を強化するためのプラットフォーム。そのポイントは、「業務プロセスの最適化と管理の効率化」と、「業務プロセスの自動化」にあると見られる。また、「業務プロセスの最適化と管理の効率化」は、業務処理を自動化して行う「自動化」(JP1/NETM/AD)、「業務プロセスの自動化」(JP1/IM/SS)という2つの機能によって実現される。

IT全統制を強化する「JP1/NETM/AD」

「JP1/NETM/AD」は、IT全統制を強化するためのプラットフォーム。そのポイントは、「業務プロセスの最適化と管理の効率化」と、「業務プロセスの自動化」にあると見られる。また、「業務プロセスの最適化と管理の効率化」は、業務処理を自動化して行う「自動化」(JP1/NETM/AD)、「業務プロセスの自動化」(JP1/IM/SS)という2つの機能によって実現される。

IT全統制を強化する「JP1/IM/SS」

「JP1/IM/SS」は、業務プロセスの自動化を実現するためのプラットフォーム。そのポイントは、「業務プロセスの最適化と管理の効率化」と、「業務プロセスの自動化」にあると見られる。また、「業務プロセスの最適化と管理の効率化」は、業務処理を自動化して行う「自動化」(JP1/NETM/AD)、「業務プロセスの自動化」(JP1/IM/SS)という2つの機能によって実現される。

内部統制を強化する

内部統制を強化するためのプラットフォーム。そのポイントは、「業務プロセスの最適化と管理の効率化」と、「業務プロセスの自動化」にあると見られる。また、「業務プロセスの最適化と管理の効率化」は、業務処理を自動化して行う「自動化」(JP1/NETM/AD)、「業務プロセスの自動化」(JP1/IM/SS)という2つの機能によって実現される。

IT全統制を強化する「JP1/NETM/AD」

「JP1/NETM/AD」は、IT全統制を強化するためのプラットフォーム。そのポイントは、「業務プロセスの最適化と管理の効率化」と、「業務プロセスの自動化」にあると見られる。また、「業務プロセスの最適化と管理の効率化」は、業務処理を自動化して行う「自動化」(JP1/NETM/AD)、「業務プロセスの自動化」(JP1/IM/SS)という2つの機能によって実現される。

IT全統制を強化する「JP1/IM/SS」

「JP1/IM/SS」は、業務プロセスの自動化を実現するためのプラットフォーム。そのポイントは、「業務プロセスの最適化と管理の効率化」と、「業務プロセスの自動化」にあると見られる。また、「業務プロセスの最適化と管理の効率化」は、業務処理を自動化して行う「自動化」(JP1/NETM/AD)、「業務プロセスの自動化」(JP1/IM/SS)という2つの機能によって実現される。

内部統制を強化する

内部統制を強化するためのプラットフォーム。そのポイントは、「業務プロセスの最適化と管理の効率化」と、「業務プロセスの自動化」にあると見られる。また、「業務プロセスの最適化と管理の効率化」は、業務処理を自動化して行う「自動化」(JP1/NETM/AD)、「業務プロセスの自動化」(JP1/IM/SS)という2つの機能によって実現される。

IT全統制を強化する「JP1/NETM/AD」

「JP1/NETM/AD」は、IT全統制を強化するためのプラットフォーム。そのポイントは、「業務プロセスの最適化と管理の効率化」と、「業務プロセスの自動化」にあると見られる。また、「業務プロセスの最適化と管理の効率化」は、業務処理を自動化して行う「自動化」(JP1/NETM/AD)、「業務プロセスの自動化」(JP1/IM/SS)という2つの機能によって実現される。

IT全統制を強化する「JP1/IM/SS」

「JP1/IM/SS」は、業務プロセスの自動化を実現するためのプラットフォーム。そのポイントは、「業務プロセスの最適化と管理の効率化」と、「業務プロセスの自動化」にあると見られる。また、「業務プロセスの最適化と管理の効率化」は、業務処理を自動化して行う「自動化」(JP1/NETM/AD)、「業務プロセスの自動化」(JP1/IM/SS)という2つの機能によって実現される。

媒体の特長とテーマ

経営層向け
What
 (何をすべきか)

【特集テーマ候補】

- 内部統制
- グリーンIT
- 事業継続
- 企業ガバナンス
- 企業価値向上

ITコンプライアンスレビュー



情シス層向け
How
 (どのように実現するか)

【特集テーマ候補】

- 運用管理/ITIL
- ミドルウェア・アプリ基盤
- SOA/データ統合
- 仮想化
- ERP
- ネットワーク/UTM/
- Enterprise2.0
 /Web2.0for Enterprise

経営・ビジネス・ITをつなぐ実践情報誌

IT initiative

Powered By
 Enterprisezine



| 広告スペース | サイズ(天地×左右) | 定価 |
|---------|-------------|------------|
| 表4 | 280mm×210mm | ¥1,000,000 |
| 表2見開き | 280mm×420mm | ¥1,500,000 |
| 表3 | 280mm×210mm | ¥700,000 |
| 目次対向1・2 | 280mm×210mm | ¥700,000 |
| 記事対向 | 280mm×210mm | ¥650,000 |
| 4C1P | 280mm×210mm | ¥600,000 |

創刊号 スケジュール

(9初旬発行予定)スケジュール

- 記事広告お申込締切:7月10日(木)
- 純広告お申込締切:7月18日(金)
- MO締切 色校あり:7月25日(金)
- MO締切 色校なし:8月6日(火)

※なお、記事広告につきましては別途お見積もりさせていただきます。営業担当までお問い合わせください。